

株式会社加貫^{かつら}ローラ製作所

耐熱性、耐摩耗性、幅広い ニーズに応えるゴムローラ

納期
相談
企画力
自信有
オンライン
技術
メイド
イン
ジャパン
試作可
小ロット



幅広いジャンルで活躍するゴムローラ

業務内容 日本初のゴムローラを製造

印刷機、食品包装機、券売機……外からは見えないが、これらはローラがないと動かない。加貫ローラ製作所は、日本で初めてゴムローラを製作し、以来100年以上、高品質の製品を送り出してきた業界のバイオニアだ。「新聞の株式欄に掲載されている産業の半分以上で、当社のローラが使われています」と加貫社長。まさに社会の動きを支えているのだ。

強み 顧客要求に応える独自の材料設計

用途に応じたローラのゴムをつくるには、材料成分をどう配合するかが鍵になる。もちろん基本パターンはあるが、同社では独自の成分配合をしている。「材質だけでも500種類はあります。これらの材質は硬度が違う場合もあり、それをいかに配合するかが重要」と加貫社長は語る。「耐熱・耐酸性」「帯電防止性」「耐摩擦性」等、顧客のニーズはさまざまだが、同社はそれらの要求特性に込めているのだ。さらに「ほこりや塵等の異物を除去できるローラ製品がほしい」というニーズを受けたことをきっかけに、シリコンやウレタン等、ゴム以外の材料についても研究を行っている。

一方で、最近では円筒度や真円度、振れ等に関して、求められる精度が高くなってきたという。現場でのメンテナンスが不要なゴムローラが求められるという背景があるが、同社はその期待に応え信頼を勝ち取っている。

技術力 新技術の開拓で業界をけん引

飲料缶等、金属印刷用の塗装ローラ「マルチコート」や、オフセット印刷機用水棒カバー「ニューモール」等、業界に先駆けて開発した製品のシェアは圧倒的だ。特に「ニューモール」は世界中に普及した。

加貫ローラは、常に新しい技術にも挑戦している。最近では微細彫刻ローラを開発。感光性樹脂の代替えとしての提案を試みている。また、DLC（ダイヤモンドドライカーボン）処理で耐摩耗性を向上、CFRPローラへのメッキ加工で、軽い、低慣性、低たわみというメリットを打ち出したのだ。創業以来蓄積されたノウハウで業界をけん引している。



常に研究開発に取り組んでいる

今後の展望 幅広い産業に新規提案

「従来の印刷、フィルム包装といった当社の得意分野から、新たな市場に参入したいですね。そのためにゴム配合技術と表面処理技術や加工技術をさらに高めたい」と加貫社長。現在、ドイツ、アメリカのローラメーカーと技術提携をし、海外でのニーズにも応じている。ますますグローバルな展開が期待できそうだ。

COMPANY PROFILE

株式会社加貫ローラ製作所

大阪
23ISO 9001
ISO 14001

当社の歴史

明治32年に石版印刷用ローラの製造・販売で創業しました。大正12年に「SK式ゴムローラ」で特許を取得。国産の印刷用ゴムローラの先駆けとして業界に貢献してきました。戦後は時代の変革と共に高まるニーズにお応えするために、ゴムの配合技術研究に取り組んできました。今後もお客様の要求にお応えするのが当社の務めだと思っています。

お客様の精度要求に応える技術開発力が当社の強みです。その姿勢は持ち続けたいですね。

代表取締役 加貫 順三さん



■主な事業内容

印刷用及び産業用ゴムローラの設計・製造・販売、洗浄液等関連資材の設計・販売等

■主な取引先（納入先）

印刷機器・工業製品メーカー等

住所／544-0005
大阪市生野区中川
5-3-13
TEL／06-6751-1121
FAX／06-6754-4400
創業／明治32年4月
設立／昭和23年6月
資本金／1億円
従業員／189名

<http://www.katsura-roller.co.jp/>